

にけーしよん



10/12 地域とともに「いちごの里」!

知的障害者更生施設「いちごの里」で、開設10周年を祝う「第10回いちご祭」が行われ、町婦人会の皆さんによるバザー、演芸大会、餅まきなどに、多くの方が訪れていました。

また、演芸大会では、豊田神楽、一本松中学校音楽部、お楽しみ抽選会、入所者と職員によるオペレッタ(台詞や歌の交った軽い内容のオペラ)、踊りなどが披露され、とても活気のある祭りとなりました。

10/25 大物グレを狙って!

磯釣りのメッカとして有名な西海や内海で大物を釣ろうと、県内外から169名の釣りマニアが参加し「あいなん磯釣大会2008」が行われました。また、3回目となった今大会から、内海渡船組合も加わり、より多くの釣り場で大物狙いの醍醐味を楽しんでいただけるようになりました。

南レク御荘グラウンドで行われた表彰式では、本町増田の橋本伸二さんが、武者泊の磯で51.2cm、3匹で4.46kgと、グレ長寸、同重量の2部門を制しました。他漁の部では、徳島県小松島市から来られた窪田学さんが、65cmのヒラスズキを釣り、優勝されました。



10/27 友情って、素晴らしい!

一本松小学校体育館で、優れた芸術文化に触れ、豊かな感性を育ててもらおうと「本物の舞台芸術体験事業」が行われ、185名の児童と保護者が演劇集団「円」による「あらしのよるに」を鑑賞しました。

当日、披露された児童劇では、オオカミとヤギが親友になり、お互いをかばい仲間と争うなど、現実にはあり得ない弱肉強食の動物界をテーマに、友情や生きるということに対する一つの問題提起をしてくれる素晴らしい劇でした。



愛南こみゆ



10/10 アラスカの自然に感動!

小西康之さん^{やすゆき}所有の酒蔵で、松山市出身の写真家、松本紀生^{のりお}さんの「アラスカ・フォトライブ」と「酒蔵に行く」と題した蓮乗寺川の灯籠まつりが行われました。

「アラスカ・フォトライブ」には、約40名が参加し、スクリーンに映し出されるザトウクジラやマッキンリー(6,194m)の雄大な自然、幻想的なオーロラなど、見たこともない映像が写されるたびに、参加者からも驚きの声が上がっていました。

10/11 いつまでも見ていたい!

今年で2回目となる「山街道を行く」が、山出地区の棚田と山出憩の里温泉の2カ所で行われ、約500個の灯籠が、山里の風景に彩りを加えてくれました。

当日は、地区役員をはじめ多くのボランティアの手によって飾られた灯籠が、日が暮れ始めた午後5時30分頃に点灯されると、刻々と変化する空色と灯籠を“いつまでも見ていたい”そんな気分になれる一時となり、多くの方がのんびりと眺めていました。



10/11 私の「どろんこサッカー」

篠山小中学校学校体育館で、審査員に原田政章^{まさあき}さん(二科会写真部会員)、犬飼恵俊^{しげとし}さんを招き「第18回県境篠山騒動どろんこサッカー大会」フォトコンテスト(県内外から216点が応募)の公開審査会が行われました。

当日は、審査員が写真の構図や色調など、鋭い感覚で応募作品を講評していました。入賞した作品は、最優秀賞1点、優秀賞1点、特選2点、入選10点、佳作7点の計21点で、年末年始「一本松温泉あけぼの荘」に展示されます。

【主な入賞作品】

最優秀	守る	岡原 俊機	広見
優秀	戦い終えて	野口 務	宿毛市
特選1	「親子」	濱本 秀雄	船越
特選2	強烈	薬師寺 孝男	鬼北町

